

2015 年度受講案内

第 8 回伴走型支援士 2 級認定講座

伴走型支援士 2 級認定講座の開催をご案内します。

ホームレス支援全国ネットワークでは、2011 年度より、困窮者支援に携わる方への人材育成プログラムとして『伴走型支援士認定講座』を開始しました。これまでに全国で実施した認定講座では、ホームレス支援団体職員・ボランティア、福祉施設職員、社会福祉協議会職員、自治体職員など、様々な分野からの参加が見られ、2014 年度までに 435 名の方々が「伴走型支援士」資格を取得されました。

困窮者の状況が大きく変化している現在、支援に携わる人材の育成は大きな課題と考えます。厚生労働省平成 22 年度社会福祉推進事業として実施した「広義ホームレスの可視化と支援策に関する調査」において、脱ホームレスを果たした年間 4 万人の方のうち、路上経験者は約半数という調査結果が出ています。そういった意味では困窮状況は見えにくくなり、地域に広がっています。困窮者の若年化や貧困の世代間連鎖など、様々な課題が見えています。

2015 年 4 月より、「生活困窮者自立支援法」に基づく自立相談支援事業がはじまりました。全国で相談窓口が設置されるとともに、就労準備支援事業、家計相談支援事業、学習支援事業など、具体的な支援の仕組みも整備されました。このことは、日本の困窮者支援において、大きな前進と言えます。

しかし、この制度をより有効に機能させるためには、地域において支援を行っている社会資源とどれだけ連携できるか、民間レベルにおける人材をいかに充実させるかが重要と考えます。相談事業のみでは、相談に来られた方をつなぐことができず、滞留する結果となるからです。そのためには、国の制度および人材育成システムが整備されるだけでなく、民間を含めた社会全体で困窮者を受け入れる体制づくりを目指さなければなりません。地域には、これまで困窮者を支えてきた民間団体・事業所が多く存在します。今後、新しい施策の中で、このような現場の方々の力が否応なく必要となってきます。私たちは、この現場の皆様の人材育成の一助となれるように「伴走型支援士育成講座」を体系的に進めてきました。国の設置する新しい困窮者支援の人材育成の仕組みと既存の社会資源による人材育成の仕組みが連携して支援にあたることによって、大きな成果が得られるものと考えています。

これまでの困窮者支援の現場で培ってきた経験、これまでの講座開催の実績をもとに、2015 年度も困窮者支援の一助となるよう、伴走型支援士認定講座を開講します。みなさまの参加をお待ちしております。

NPO 法人ホームレス支援全国ネットワーク
理事長 奥田知志

開催概要

◆ 日 時

2015年8月21日（金）13時00分

～ 23日（日）14時30分

※3日間の連続講座です。原則、全課程を受講できる方に限ります

★オプションプログラム：

8月20日（木）14時00分～16時30分（詳細は後述）

◆ 場 所

宮城県仙台市

◆ 宮城自治労会館

住所：宮城県仙台市青葉区二日町 7-23

電話：022-222-6814

◆ 開講講座

2級認定講座（初任者向け）

◆ 定 員

70名 ※ 定員になり次第、申し込みをお断りする事があります。お早めにお申し込み下さい。

◆ 費用

認定費用 10,000 円

※原則、返還はありません。

○ 別途必要となる費用

● 交通費・宿泊費

※ 各自で手配をお願いいたします。

● 交流会費：3,500 円

※ 参加・不参加の旨を申込書にご記入ください。

● 食事代

※ 2 日目・3 日目はお弁当を 500 円で用意いたします。ご希望の方は申込書にご記入ください。

● オプション参加費

※ 8/20 のオプションプログラムに参加希望の方は、資料代として 1,000 円をお支払いください。ご希望の方は申込書にご記入ください。

★ 詳細は、受講決定通知にてお知らせします。

◆ 申込受付期間

2015 年 7 月 21 日（火）～8 月 7 日（金）

◆ 受講資格

伴走型支援士を志す方はどなたでも受講できます。

◆ 資格認定者

資格認定は、特定非営利活動法人ホームレス支援全国ネットワーク内に設置する伴走型支援士資格認定委員会委員長が行うものとします。

◆ 資格の有効期限

5年間

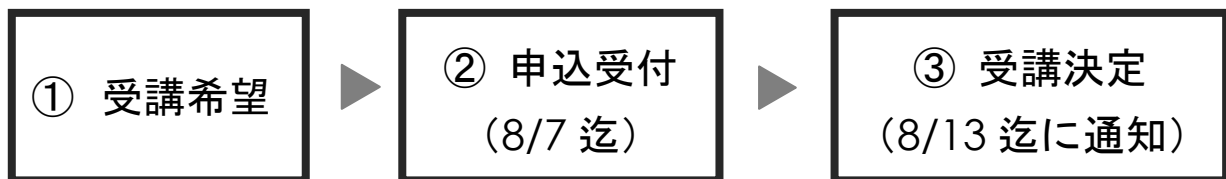
※ 有効期限内に更新講座の受講をしない場合、資格失効となります。

◆ 受講者の決定と結果通知

申込書の住所に随時郵送

※ 申込書記載の住所宛に郵送します。8月13日（木）を過ぎても通知書が届かない場合はご連絡ください。

◆ 受講の手続き



- ①② 受講を希望される方は **2015年8月7日（金）**までに、別紙「**受講申込書**」に必要事項を記入のうえ、証明写真を2枚同封し（内1枚は申込書に添付）、郵送にて下記の申込先までお送り下さい。
- ※電話・ファックス・メールでの受講申し込みはできませんのでご注意ください。
- ③ 受講申込書の受付後、2015年8月13日（木）までに結果を申込書記載の住所宛に郵送にて通知します。（受講決定通知書の郵送）

◆ 申込書類送付先およびお問い合わせ先

特定非営利活動法人ホームレス支援全国ネットワーク事務局

〒 805-0015 福岡県北九州市八幡東区荒生田 2-1-32

tel/fax: 093-651-7557

e-mail: postmaster@homeless-net.org

第8回伴走型支援士2級認定講座 スケジュール

8月21日（金） 会場：宮城自治労会館

12:30-13:00	受付	
13:00-13:15	実行委員長挨拶/オリエンテーション	中山 徹（大阪府立大学教授）
13:15-14:45	今日の生活困窮者問題と伴走型支援	奥田 知志（NPO 法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長）
14:55-15:55	生活困窮状態にある女性支援 I	野依 智子（福岡女子大学女性研究者支援室 副室長・教授）
16:05-17:05	生活困窮者に対する家計再生支援 I	行岡 みち子（生活協同組合連合会グリーンコープ連合 常務理事）
17:15-18:15	生活困窮者支援と司法福祉 I	伊豆丸 剛史（長崎県地域生活定着支援センター所長）
19:00-21:00	交流・懇親会	

8月22日（土） 会場：宮城自治労会館

9:00-10:00	生活困窮者支援と社会保障 I	中山 徹（大阪府立大学教授）
10:10-11:10	生活困窮者支援と社会福祉－障がい者福祉 I	奥村 健（社会福祉法人みおつくし福祉会理事長）
11:20-12:20	生活困窮状態にある子ども・若者支援 I	谷口 仁史（NPO スチューデント・サポート・フェイス代表理事）
12:20-13:00	昼食	
13:00-14:00	ホームレス支援論 I	高沢 幸男（寿支援者交流会 事務局長）
14:10-15:10	生活困窮者に対する就労支援 I	高橋 尚子（京都自立就労サポートセンター 主任自立就労支援相談員）
15:20-16:20	生活困窮者に対する居住支援 I	平川 隆啓（有限会社地域・研究アシスト事務所/甲南大学非常勤講師）
16:25-17:00	各地の活動報告	

8月23日（日） 会場：宮城自治労会館

9:15-10:15	サポートプラン方式による生活困窮者支援Ⅰ	森松 長生（NPO 法人 抱樸 常務理事）
10:25-11:55	サポートプラン方式による生活困窮者支援Ⅱ（サポートプラン作成実習）	森松 長生（NPO 法人 抱樸 常務理事）
11:55-12:35	休憩・昼食	
12:35-12:50	認定試験会場の準備	
12:50-13:00	認定試験の説明（10分）	
13:00-14:20	認定試験（80分）	
14:20-14:30	閉会挨拶	副田 一郎（NPO 法人ホームレス支援全国ネットワーク理事）

※内容は一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

オプションプログラム

内容：仙台市の生活困窮者自立支援制度と被災地支援について

日時：8月20日（木）14：00-16：30

行程：

- ① 自立相談支援事業所見学
- ② 就労準備支援事業所見学
- ③ 被災地支援の現状説明 ほか

費用：1,000円（資料代）

集合：一般社団法人パーソナルサポートセンター 事務所

（宮城県仙台市青葉区二日町 6-6 電話/022-399-9662）

講義と主な内容	形式
<p>◇ 今日の生活困窮者問題と伴走型支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者とは誰か ● 生活困窮者支援とは何か ● 生活困窮者支援には何が必要か ● 個人に対する伴走型支援 ● 地域に対する働きかけ ● おわりにー支援の方向性 	講義
<p>◇ ホームレス支援論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ホームレスとは誰か？」ーホームレス特措法上のホームレス ● ホームレスになるおそれのある者とは（広義のホームレス≡生活困窮者） ● ホームレスの減少、生活保護者・生活困窮者の増大、物質的な貧困、社会的な貧困（関係性の貧困） ● 広義ホームレスは増大、貧困の連鎖について ● まとめにかえて一家と共に何を失ったのか？回復すべきものは何なのか？ 	講義
<p>◇ 生活困窮者支援と社会保障Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会保障制度の全体像と生活困窮者支援 ● 社会保険と生活困窮者支援 ● 生活保護と生活困窮者支援 ● 「第二のセーフティネット」ー重層的セーフティネットの構築 	講義
<p>◇ 生活困窮者に対する就労支援Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者支援における就労支援の位置付けと意義 ● 自立支援センターなど法に基づく施策による就労支援 ● 多様な就労と自立支援 ● 中間労働市場の構築と制度的実践的課題 	講義
<p>◇ 生活困窮者に対する居住支援Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者と居住支援の位置付け ● 居住の不安定性と多様性 ● 居住の現状 ● 多彩な居住支援 	講義
<p>◇ 生活困窮者支援と司法福祉Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 刑事司法手続きについて ● 矯正施設出所者支援 ● 捜査・公判段階からの支援 	講義

<p>◇ 生活困窮者支援と社会福祉－障がい者福祉 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者支援における障がい者の実態 ● 障がいの特性 ● 各依存症の特性 ● 障がい者福祉の制度 ● 障がい者の制度から漏れがちな人々に対する支援と課題 	<p>講義</p>
<p>◇ 生活困窮状態にある女性支援 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最近の生活困窮者の現状 ● 女性支援に見られる特徴 ● 貧困の世代間連鎖について 	<p>講義</p>
<p>◇ 生活困窮状態にある子ども・若者支援 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最近の生活困窮者の現状—子ども・若者 ● 子ども・若者支援に見られる特徴 ● 学習支援等の様々な支援の意義と概要 ● 家庭支援について 	<p>講義</p>
<p>◇ 生活困窮者に対する家計再建支援 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家計再建支援の目的、意義 ● 家計から見える困窮世帯の状況 ● 家計再建支援の基礎知識 	<p>講義</p>
<p>◇ サポートプラン方式による生活困窮者支援 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者支援におけるアフターサポートの目的と意義 ● サポートプラン作成の意義、目的 ● アフターサポート段階におけるケアマネジメント ● サポートプランの活用法 	<p>講義</p>
<p>◇ サポートプラン方式による生活困窮者支援 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サポートプラン作成の実際 	<p>演習</p>

※ 講義内容は変更されることがあります。予め、ご容赦ください。

